

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 糸ぐるま玉村町教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月24日		～ 2025年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。 ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	・送迎時やLINEなどの連絡ツールを活用し、変化があったことや気になることはその都度伝えている。 ・活動の様子を文章だけでなく、写真や動画で伝えるようにしている。	・今後も継続して連絡を密にとり、情報共有していく。
2	・子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている。	・直接管理者に相談があった時だけでなく、送迎時などに担当職員に相談があった際も職員間で情報を共有し、すぐに対応できる体制を整えている。	・積極的に家族や子どもとコミュニケーションを図り、悩み事に対してすぐに対応できるようにする。
3	・子どもは通所を楽しみにしている。	・様々な活動やイベントを毎月考えて設定している。 ・子どもたちが自ら取り組みたいくなるような活動を職員一人ひとり考えて行っている。 ・子どもたちからどんなことがやりたいか意見を聞き、参考にしている。	・今後も通所が楽しいと思ってもらえるよう、活動内容を工夫したり、楽しいイベントを考えていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	・モニタリング時や随時相談がある時以外になかなか時間を作るのが難しい。	・モニタリング時や随時相談は継続して行っていくが、家族支援についても研修など検討していく。
2	・父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていない。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしていない。 ・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていない。	・保護者会を希望してくれる方もいれば、負担に感じてしまう方もいるので開催が難しい。 ・地域の方を招待できるような活動を行ってこなかった。	・BBQやお祭りなど、保護者の方も気軽に参加して交流が図れるような企画を考えていきたい。 ・バザーやお祭りなど、地域の方にも参加してもらえよう企画を考えていきたい。
3	・定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定を子どもや保護者に対して発信されていない。	・日々個別で活動の様子を送らせていただいていたが、HPやInstagramでの投稿が滞ってしまった。	・避難訓練の実施状況も保護者の方に周知されにくいことから、HPやInstagramなどを通して訓練の報告なども含め、活動の様子を定期的に発信していきたい。